



ティー・ビー・ロジスティクス株式会社  
TB LOGISTICS CO., LTD.

## ご利用製品 ▶ 点呼+ (デスクトップ版)

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社 📍 埼玉県八潮市浮塚100番地 🏠 4拠点 👤 63名 (ドライバー)  
代表取締役社長 **相川 和政 様** 🚚 70台 📦 産業廃棄物収集運搬業・一般貨物自動車運送事業

### 活用している点呼制度

業務前

業務後

活用方法

遠隔点呼



自動点呼

本社で複数拠点の  
遠隔点呼を一括で執行。

### 独自の取組み

#### 【独自の社内キャンペーンを実施】

令和8年4月に道路交通法の一部が改正されることを見越し、横断歩道での一時停止の状況をドラレコ映像から確認。

一時停止のルールを守っているドライバーを社内表彰の対象とし、インセンティブを付与。

社内で安全運転を強化する運動を推進している。

※左記の画像：生成AIで作成したポスター（相川社長作成）



### 導入背景

- ❌ 24時間運行体制における運行管理者の過度な負担
  - 深夜早朝の運行が頻繁に発生するため、運行管理者が不規則な点呼対応に追われていた
- ❌ 人員配置の非効率性
  - 運行管理者が点呼対応のため、朝から夜まで駐在する必要があり、その結果「やることがない時間帯」が生じていた
- ❌ 業務の属人化
  - 複数拠点で点呼内容や確認事項、健康基準が統一されていないため、コンプライアンス管理に課題があった
- ❌ 健康管理の重要性
  - 健康管理を重視し、乗務不可条件（血圧180以上）を設けていたが、紙ベースの点呼では一元管理や経時的把握が難しかった



## 24時間運行体制における運行管理者の負担を大幅軽減 —— 今後は業務前自動点呼の導入も予定

### 運用上の工夫

#### ✓ 段階的なアプローチ

- 各営業所単位での操作説明を実施し、スタッフの習熟度に合わせた導入を促進。「できる人材」による相互指導を実施し、**デジタルツールへの抵抗感を緩和**

#### ✓ 確認事項の一元管理

- 点呼時のガイダンスに沿った操作により、複数拠点での確認内容を統一化。「本社への報告判断」も自動的に判定され、**属人的な判断が排除された**

#### ✓ 健康データの可視化

- 月次の血圧データ集計機能でドライバーの**健康リスクを早期発見**。データを病院に持参するドライバーが増え、自己管理意識が高まった

### 導入効果

#### ✓ 早朝の点呼業務の**負荷を75%削減**

- 早朝の点呼を遠隔点呼で実施することで1拠点に集約。運行管理者が**他業務に集中できる環境を構築**

#### ✓ 業務時間の短縮

- 業務後自動点呼の活用により、**夜間の点呼対応がほとんど不要**になり運行管理者の働き方改革を実現
- 点呼記録簿の自動作成により、確認作業に要する時間が**1日あたり約4時間削減された**

#### ✓ 巡回指導の対応時間を削減

- 点呼記録簿の自動作成やクラウド管理により、巡回指導時の資料準備に要する時間を**約70%削減**

#### ✓ コンプライアンスの強化

- 点呼基準の統一化により、**全拠点での確実な法令遵守が実現**
- 免許証認証により、**免許証不携帯のリスクが排除**